ひょうご事業改善レビュー好事例事業の横展開及び表彰の実施について

目的

◆ 好事例事業の所管課を表彰し、庁内に横展開することにより、事業改善に取り組む職員の意欲を高め、創意工夫を促進し、もって行財政運営の質向上を図る

日時・場所

◆ 令和８年１１月２０日（金）　１６：００～１６：２５
※取材をされる場合は、１５：５５までにお集まりください

◆ 県庁３号館11階　Ｄ会議室（委員会から所管課へ表彰状の授与）

決定方法

◆ フォローアップ型（5頁参照）のうち、改善が達成された事業（27事業）について、各部局の自己評価等に対して、各委員がモニタリングを実施

◆ 上記モニタリングをもとに選定した3事業について、下記の委員会評価基準に沿って、表彰事業を委員会（9月12日実施）にて決定

委員会評価基準

① 独自の取り組みを試みた点を評価した事業	例：	・所管課で独自の取り組みをしているか等 ・レビュー意見以外にも改善に取り組んだか等
② レビュー意見を反映して成果をあげた事業	例：	・レビュー意見を踏まえて改善に向けて取り組んだ結果、KPI指標が一定程度改善されているか等
③ 改善結果がレビューシートに反映されている事業	例：	・その他の事業で真似をする（横展開しやすい）ようにモデル化されていること

表彰事業の概要

所管課：県民生活部 男女青少年課

優秀賞　企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実

事業目的・概要

県内企業の女性活躍推進のため、県男女共同参画センターに「女性活躍推進センター」を設置し、職場における意識改革や女性の登用の促進、働きやすい職場環境整備等を行う企業を支援し、社会全体の気運の醸成を図る

R5レビュー意見・改善状況

・企業トップがやる気を持てば、一気に社内での取組につながるので、企業トップへの働きかけを強化すべき。
・トップセミナーを開催することとし、その開催回数をアウトプット指標にすべき。
・地方の中小企業で活躍する女性アンバサダーとして、取組を情報発信してもらってはどうか。
・中小企業の中の女性活躍で取り上げられる企業が限定化されている。幅広く拾い上げ、さらなる好事例を共有すべき。

・ミモザ企業認定育成のため、女性活躍推進専門員を１名増員し、社員の意識改革や企業トップ等への働きかけを強化し、経営者・管理職等を対象とした研修を企画するなど、支援内容の改善を図った。
・企業トップへの働きかけを強化するため、市町や経済団体等と連携し、経営者・管理職向けの意識改革、女性活躍推進の取組を促すためのセミナーを開催し、開催回数をアウトプット指標に追加。
・ミモザ企業認定制度においては、令和6年度に、認定に挑戦しやすい「フレッシュミモザ企業」の区分を新設し、県内企業における女性活躍推進のさらなる機運醸成に努めている。

委員会評価ポイント

・企業トップの意識改革が重要である中、経営者向けセミナーの制度化や、セミナー回数をアウトプット指標化するなど、企業トップの意識改革への働きかけ強化に取り組んできたことは評価できる。
・女性活躍推進専門員の増員や個別相談の実施に加えて、「フレッシュミモザ企業」区分の新設による認定制度のミモザ企業制度の裾野拡大や県内大学生等によるSNSを活用したミモザ企業の魅力発信など、女性活躍推進の取組を伴走支援として実施していることは評価できる。

優秀賞 モデルプロジェクトの継続性向上

事業目的・概要

新たに県内に事業所を開設したIT事業者等と連携し、地域課題を解決するモデルプロジェクトを実証することにより、地域内のIT人材を育成する。また、県内で実証されたモデル的な取組の成果について、同様の課題を抱える他自治体への横展開を実施する。

R5レビュー意見・改善状況

・ひょうごTECHイノベーションプロジェクトに統合していくのは、適切な検討の方向性ではないか。
・アウトカム指標は、国事業として雇用創出人数を残すとともに、県事業でもある以上、県の理念に沿った指標も入れるべきなので、 採択プロジェクトの計画に対する達成度も指標として検討してはどうか。
・うまくいった事例について、同じ課題を有する他の地域への横展開を検討すべき。

・地域IT人材育成事業をひょうごTECHイノベーションプロジェクトに統合して実施
・「採択プロジェクトの計画に対する達成度を図る指標」として、公共調達率を設定
・県内外の横展開イベントを通して、他の地域における公共調達を促進(令和7年：5回)

委員会評価ポイント

・事業統合、予算の効率化や、実証実験を公共調達につなげている点は評価でき、高い費用対効果が認められる。
・特に、統合後は実証実験にとどまらず、公共調達や他自治体への横展開までを支援する仕組みが構築され、公共調達率や横展開機会提供企業数は目標を大きく上回るなど、事業成果の社会実装が進展している点が高く評価できる。

特別賞 民間活力を活用した職場の健康づくり支援

事業目的・概要

健康づくりチャレンジ企業が主催する健康づくりに関する研修会や運動教室に専門家（栄養指導・運動指導・生活指導等）を派遣することで、働き盛り世代の健康づくりを推進する。従業員等の健康づくりのために研修会等を実施しようとする企業をサポートするために、講師派遣を実施。

R5レビュー意見・改善状況

・今後はハード面の支援から健康教室や研修会の開催など、ソフト面に対する支援に切り替えていくべき。
・今後の支援の検討にあたっては、企業内の健康づくりをサポートしている事業者との連携など民間活力の活用も検討されたい。
・アウトカム指標について、最終的には企業の中の人がいかに健康になったかを測れるように、事業の改善の方向性が具体化した段階で検討されたい。また、必要に応じて中間アウトカムを設定すべき。

・ハード面への支援から、企業が主催する従業員向けの健康づくりに関する研修会等への講師派遣に支援内容を変更。
・民間活力を活用し、公募等により選定した健康づくりをサポートしている事業者に講師派遣を委託
・支援対象を新規に研修会を開催する企業に絞るとともに、支援回数の上限を設けることで、これから従業員の健康づくりに力をいれる企業を重点的にサポート。
・研修受講後にｱﾝｹｰﾄ調査を行うこととし、その結果を分析した上で事業の効果を測定するためのｱｳﾄｶﾑ指標を設定。

委員会評価ポイント

・R5年度外部評価意見を踏まえ、健康づくり機器購入補助によるハード支援から、健康づくり研修会への講師派遣によるソフト支援へ事業を見直したことは評価できる。また、民間事業者を活用した実施体制への転換により、利用実績も大幅に増加しており、企業ニーズに沿った事業改善が図られている。
・KPIも事業内容に即したものへ変更されており、改善効果が分かりやすくなった。

フォローアップ型（R5事業改善レビュー対象事業一覧）

▶赤字は外部委員会評価対象事業

No.	部局名	事　業　名
① より効果的・効率的な事業内容等への見直し（14事業）		
1	県民生活部	企業の女性活躍推進に向けた女性活躍推進専門員による支援充実
2	福祉部	効果的なPR等による「子ども食堂」の普及促進
3	福祉部	関係団体との連携による農福連携の充実
4	福祉部	介護福祉士増加に向けた代替職員の確保策
5	福祉部	認定こども園移行補助の更なる活用に向けた方策
6	保健医療部	骨髄提供しやすい職場環境づくりの推進
7	産業労働部	男性育休の取得に向けた制度の利用促進
8	産業労働部	小規模事業者への海外事業展開支援
9	産業労働部	地方空港のネットワーク化推進
10	農林水産部	非住宅分野での木材利用促進
11	環境部	地域主導による再エネ導入に向けた支援の充実
12	環境部	農業被害の軽減に向けたイノシシの捕獲の推進
13	まちづくり部	高齢者世帯の住宅耐震化の促進
14	教育委員会	兵庫の防災教育の推進

No.	部局名	事　業　名
② 民間等との協働・民間活力の活用（７事業）		
15	企画部	民間活力の活用による首都圏等での移住促進セミナーの強化
16	保健医療部	民間活力を活用した職場の健康づくり支援
17	保健医療部	効果的な説明会の実施による医師の地域偏在の是正
18	産業労働部	理工系人材と県内企業とのマッチング支援
19	産業労働部	モデルプロジェクトの継続性向上
20	教育委員会	企業等との連携による児童生徒の体力アップ支援の充実
21	教育委員会	民間活力を活用した特別支援学校就職支援の取組強化
③ 県民等の利便性の向上（４事業）		
22	福祉部	ｵﾝﾗｲﾝ技術を活用したDV被害者相談の実施
23	福祉部	障害者差別に対する事業者の意識向上
24	保健医療部	ＳＮＳ等を活用した感染症検査受付による利便性向上
25	教育委員会	インターネット出願システムの開発
④ 複数事業間の連携（５事業）		
26 27 28	危機管理部	地域防災力のレベルアップ ・ひょうご防災リーダー活動推進事業 ・防災人材育成拠点を活用した防災研修事業 ・消防団活性化支援事業
29 30	農林水産部	新規就農者等の初期投資支援策の適正化 ・農業施設貸与事業 ・経営発展支援事業